

基本施策

4－(1)	アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開
-------	------------------------------

目指す姿

本県が焦土と化した凄惨な沖縄戦の記憶を風化させることなく、沖縄の歴史と風土の中で培われてきた平和を希求する「沖縄のこころ」を広く国内外へ発信し、アジア・太平洋地域における独自の地域協力外交や平和発信拠点としての役割を担い、新時代の平和構築に貢献することを目指す。

主要指標(最終アウトカム)の基準値と目標値

主要指標名	基準値	現状値 (計画策定時)	R9年度 目標値	R13年度 目標値	全国の現状 (参考年)
平和構築に貢献する 地域間協力のネット ワーク数	1件 (R3年度)	3件 (R5年度)	5件	7件	—

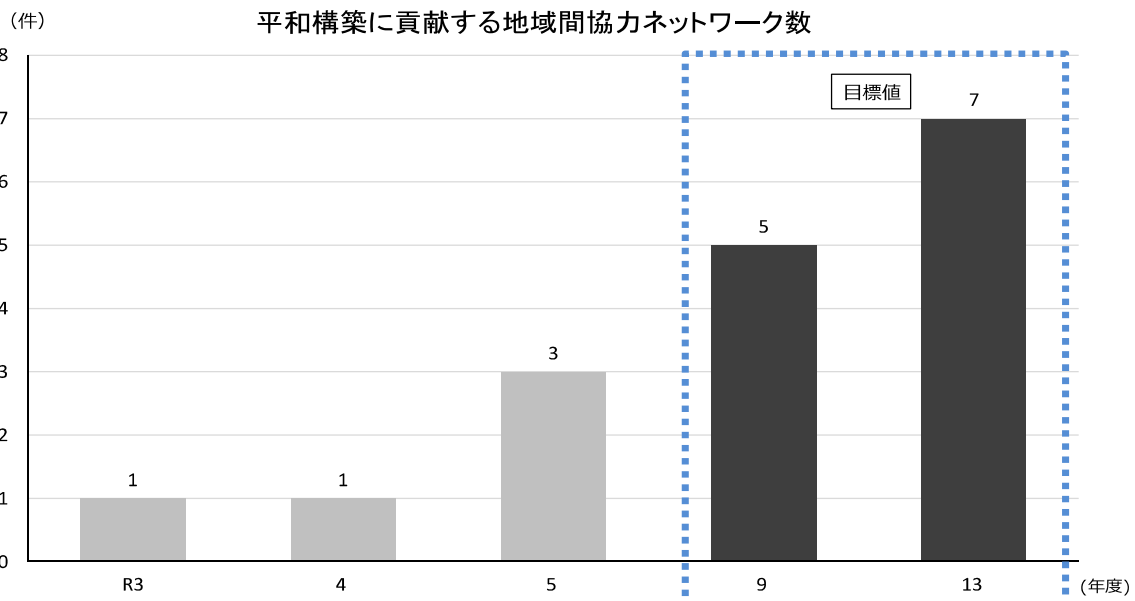
【指標設定の考え方】

平和構築に貢献する地域間協力のネットワーク数を施策の主要指標とする。

国内外の自治体や研究機関、平和関連団体等との連携・協力によるネットワーク構築により、沖縄戦の実相・教訓の次世代への継承や平和発信拠点の形成につながり、ひいては平和を希求する「沖縄のこころ」を広く国内外へ発信することに資することから、この指標を選定する。

【目標値設定の考え方】

基準年度となる令和3年度の国内外地域間協力のネットワーク数に対し、概ね2年間に1件のペースで増加を図ることとし、令和9年度はプラス2件、令和13年度はプラス2件とする。



出典: 沖縄県知事公室平和・地域外交推進課調べ

基本施策の体系

【基本施策】

4－(1) アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開

【施策展開】

ア アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成

イ 沖縄戦の実相・教訓の次世代継承

協働が期待される主体と役割

協働主体名	期待される役割
県民	・平和学習への参画、沖縄戦の実相・教訓の次世代への継承 ・沖縄平和賞の趣旨理解、募金活動への協力
事業者	・平和社会貢献活動 ・沖縄平和賞の趣旨理解、募金活動への協力
市町村(教育委員会)	・子ども達に身近な地域の歴史、実情に応じた平和学習の推進

【施策展開】

4－(1)－ア

アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成

施策展開の体系

【施策展開】

4－(1)－ア アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成

【施策】

【成果指標(初期アウトカム)】

① 国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館の入館者数
② アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成	地域間協力ネットワークを活用した発信数(累計)

【施策】4－(1)－ア－① 国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信

施策の方向

- ・沖縄戦において一般住民が地上戦に巻き込まれ、多くの命が失われた凄惨な経験を通して、慰霊の日における沖縄全戦没者追悼式の開催、平和の礎への追加刻銘など、戦没者のみ霊を慰め、**平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信**に取り組みます。
- ・平和発信の拠点となる沖縄県平和祈念資料館での魅力ある企画展の開催及び展示内容の多言語化を進め、**国内外への発信力の強化**に取り組みます。
- ・国や市町村等との連携・協働の下、県内各地に残されている**戦争遺跡の保全**に取り組み、一般公開が可能な遺跡については、沖縄戦の記憶継承の空間としての利活用に取り組みます。特に、沖縄戦の軍事的中枢施設であった第32軍司令部壕については、壕の詳細な位置の確認や壕周辺の地盤の安全性を検討するための地質調査等を進め、壕の保存・公開に向けて取り組みます。
- ・戦跡として唯一の国定公園である沖縄戦跡国定公園を中心とした戦跡の保存・活用など平和発信地域を形成するとともに、当該国定公園の特別地域の範囲の見直しを図るなど、**平和の発信と歴史的風景の保全を両立する地域の形成**を図ります。

成果指標(初期アウトカム)

成果指標名 : 平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館の入館者数		
全国の現状値	沖縄県の基準値	R9年度の目標値
—	平和の礎の来園者数 517,371人 平和祈念資料館の入館者数 79,717人 (R3年度)	平和の礎の来園者数 1,259,881人 平和祈念資料館の入館者数 435,619人

R13年度の目標値: 平和の礎の来園者数 1,363,736人 平和祈念資料館の入館者数 471,528人

主な取組(アクティビティ)及び活動指標(アウトプット)

【施策】① 国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信				
主な取組 (アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信				
平和の礎への追加刻銘 (知事公室 平和・地域外交推進課)	県	追加刻銘等の実施、施設・設備等の整備		
		追加刻銘者数(累計)		
		100人	100人(200人)	100人(300人)

基本施策4－(1)アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開

沖縄平和賞の開催 (知事公室 平和・地域外交推進課)	県 沖縄平和賞委員会	沖縄平和賞の周知を図るパネル展等の開催		
		パネル展の開催箇所数(累計)		
		9箇所	9箇所(18箇所)	9箇所(27箇所)
沖縄全戦没者の追悼 (生活福祉部 保護・援護課)	県	沖縄全戦没者追悼式の開催(「慰霊の日」6月23日)		
		沖縄全戦没者追悼式の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信力の強化				
沖縄県平和祈念資料館での魅力ある企画展の開催 (知事公室 沖縄県平和祈念資料館)	県	沖縄県平和祈念資料館における特別企画展等の開催		
		特別企画展等の開催回数(累計)		
		5回	5回(10回)	5回(15回)
「平和の礎」 刻銘者インターネット公開 (知事公室 平和・地域外交推進課)	県	平和の礎刻銘者のインターネット公開		
		システム開発		
		実施	実施	実施
沖縄県平和祈念資料館の展示更新 (知事公室 沖縄県平和祈念資料館)	県	沖縄県平和祈念資料館の展示更新		
		展示更新工事		
		実施	実施	実施
○戦争遺跡の保全				
戦争遺跡の保護 (教育庁 文化財課)	県 市町村	戦争遺跡の文化財指定の推進		
		戦争遺跡の文化財指定件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
第32軍司令部壕の保存・公開 (知事公室 平和・地域外交推進課)	県	保存・公開に向けた詳細調査実施と情報発信		
		調査や情報発信等の実施回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)

基本施策4－(1)アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開

○平和の発信と歴史的風景の保全を両立する地域の形成				
自然公園区域等の見直し(沖縄戦跡国定公園) (環境部 自然保護課) 【再掲】	県	自然公園の区域等について、自然的・社会的条件の変化に応じた見直しの実施		
		沖縄戦跡国定公園区域等の見直し		
		変更県案作成、県審議会諮問、国へ申出	－	－

【施策】4－(1)－ア－② アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成

施策の方向

- ・アジア・太平洋地域の平和の構築と維持に貢献する個人・団体を「沖縄平和賞」として顕彰し、賞を通して受賞団体等の活動を支援するとともに、「沖縄平和賞」の更なる認知度向上を図りつつ、受賞団体等とのネットワークを活用した平和に関する広報啓発活動等の新たな展開を進め、**平和を軸とする国際的なネットワーク形成**に取り組みます。
- ・平和推進の拠点となり調査研究や情報発信等を行うため「**国際平和研究機構(仮称)**」の設置を検討するとともに、平和に関する多様な資源の集積や様々な機関との連携強化に取り組みます。
- ・国際関係機関と連携の下、関係諸国の機関や研究所に呼びかけ、平和構築に貢献するための定期的な**国際会議の開催**に取り組みます。
- ・アジア・太平洋地域の安定・発展に資する**国際機関等の誘致**に努めます。

成果指標(初期アウトカム)

成果指標名 : 地域間協力ネットワークを活用した発信数(累計)		
全国の現状値	沖縄県の基準値	R9年度の目標値
－	1回 (R3年度)	8回

R13年度の目標値:12回



主な取組(アクティビティ)及び活動指標(アウトプット)

【施策】② アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成

主な取組 (アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
○平和を軸とする国際的なネットワーク形成				
国際ネットワーク構築に向けた 海外の自治体や平和関連施設 等との意見交換 (知事公室 平和・地域外交推 進課)	県	国際平和ネットワーク構築に向けた意見交換		
		海外の自治体や平和関連施設等との意見交換回数(累計)		
		4回	4回(8回)	4回(12回)
沖縄平和賞受賞団体を活用し たシンポジウム開催 (知事公室 平和・地域外交推 進課)	県 沖縄平和賞 委員会	沖縄平和賞シンポジウムの開催		
		シンポジウムの開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
○「国際平和研究機構(仮称)」の設置検討				
平和祈念資料館の体制強化 (知事公室 平和・地域外交推 進課)	県	平和祈念資料館の体制強化		
		研究員(学芸員含む)の配置数増(内訳)		
		2人	2人(継続2人)	2人(継続2人)
○国際会議の開催				
地域外交を基軸とする国際会 議等の誘致・開催 (知事公室 平和・地域外交推 進課)	県	万国津梁フォーラム(仮称)や国際会議等の開催		
		国際会議等の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
○国際機関等の誘致				
アジア・太平洋地域の安定・発 展に資する国際機関等の誘致 (企画部 企画調整課)	県	国際機関の誘致に向けた取組		
		情報収集及び関係者との意見交換回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)

【施策展開】
4－(1)－イ

沖縄戦の実相・教訓の次世代継承

施策展開の体系

【施策展開】

4－(1)－イ 沖縄戦の実相・教訓の次世代継承

【施策】

【成果指標(初期アウトカム)】

① 平和学習の推進及び次世代への継承

平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数

② 平和に関する社会貢献活動の推進

平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数(累計)

【施策】4－(1)－イ－① 平和学習の推進及び次世代への継承

施策の方向

・沖縄戦の実相と教訓を正しく次世代に伝えていくため、沖縄戦の調査研究を進めるとともに、子どもたちの学びの機会としての平和学習の充実に取り組みます。

・平和講話、平和に関するワークショップ等を活用し、県内教育機関をはじめ県外からの修学旅行生や外国人への情報発信に取り組むとともに、戦争体験者等から思いを継承し、沖縄戦の記憶や記録を学び次世代へ語り継ぐ担い手の育成・確保を推進します。

・県内に多く設置されている慰霊碑や慰霊塔の一部においては、関係者の高齢化等に伴い十分に管理されていない状況等にあることから、管理実態の調査結果等を踏まえつつ、国や市町村、関係団体と連携を図りながら管理や支援のあり方を個々に検討し、課題解決に取り組みます。

成果指標(初期アウトカム)

成果指標名 : 平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数

全国の現状値	沖縄県の基準値	R9年度の目標値
—	61校 (R3年度)	140校

R13年度の目標値:150校



主な取組(アクティビティ)及び活動指標(アウトプット)

【施策】① 平和学習の推進及び次世代への継承

主な取組 (アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
○平和学習の充実				
平和講話の実施 (知事公室 沖縄県平和祈念資料館)	県 関係団体	沖縄県平和祈念資料館による平和講話の実施		
		県内学校向け平和講話利用案内説明会の回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
対馬丸平和学習交流事業の実施 (知事公室 平和・地域外交推進課)	県	対馬丸事件を通して平和の尊さを学び、奄美大島と沖縄県の子ども達との交流を図る		
		交流事業本研修の参加者数(累計)		
		30人	30人(60人)	30人(90人)
平和学習ワークショップの開催 (知事公室 平和・地域外交推進課)	県	小・中・高・大学における平和学習ワークショップの実施		
		ワークショップの実施校数(累計)		
		9校	9校(18校)	9校(27校)
児童生徒に対する地域の歴史を踏まえた平和教育(小学校・中学校) (教育庁 義務教育課)	県 市町村 各学校	学校や地域の状況を踏まえた児童生徒への平和教育		
		各学校における児童生徒に対する地域の歴史を踏まえた平和教育の実施率		
		100%	100%	100%
生徒に対する地域の歴史を踏まえた平和教育(高等学校) (教育庁 県立学校教育課)	県 各学校	学校や地域の状況を踏まえた生徒への平和教育		
		各学校における生徒に対する地域の歴史を踏まえた平和教育の実施率		
		100%	100%	100%
○次世代へ語り継ぐ担い手の育成・確保				
沖縄戦の語り継ぎ手養成講座 (知事公室 沖縄県平和祈念資料館)	県 関係団体	次世代に語り継ぐ担い手の育成		
		沖縄戦の語り継ぎ手養成講座受講者数(累計)		
		40人	40人(80人)	40人(120人)

基本施策4－(1)アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開

○慰霊碑(塔)の適正な管理等				
慰霊碑(塔)の適正な管理 (生活福祉部 保護・援護課)	県 市町村等 関係団体	関係機関と連携した個々の慰霊碑(塔)の管理や支援のあり方の検討と課題解決への取組		
		関係機関との意見交換回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)

【施策】4－(1)－イ－② 平和に関する社会貢献活動の推進

施策の方向

- ・県内において平和につながる身近な社会貢献活動に取り組む個人・団体を「ちゅうちな一草の根平和貢献賞」として表彰し、平和に関する県民意識の醸成に取り組めます。
- ・平和で豊かな社会の実現に向けて、「ちゅうちな一草の根平和貢献賞」や「沖縄平和賞」受賞団体とのネットワークを活用しつつ、平和に関するワークショップやシンポジウムの開催に取り組めます。
- ・平和推進に関心のある県内の若者が「沖縄平和賞」受賞団体等と連携した取組等を通して、国内外で平和につながる活動を行う人材となるよう育成支援に取り組めます。

成果指標(初期アウトカム)

成果指標名 : 平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数(累計)		
全国の現状値	沖縄県の基準値	R9年度の目標値
—	12団体 (R3年度)	30団体 (個人も含む)

R13年度の目標値:42団体(個人も含む)



主な取組(アクティビティ)及び活動指標(アウトプット)

【施策】② 平和に関する社会貢献活動の推進

主な取組 (アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
○平和に関する県民意識の醸成				
ちゅううちな一草の根平和貢献賞の開催 (知事公室 平和・地域外交推進課)	県	ちゅううちな一草の根平和貢献賞の周知を図るパネル展の開催		
		パネル展の開催箇所数(累計)		
		9箇所	9箇所(18箇所)	9箇所(27箇所)
○平和に関するワークショップやシンポジウムの開催				
沖縄平和賞受賞団体間のネットワークを活用したシンポジウム等の開催 (知事公室 平和・地域外交推進課)	沖縄平和賞受賞団体	国際平和に関するシンポジウム等の開催		
		シンポジウム等の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
○平和に関する人材育成				
国際平和ネットワーク人材育成研修の実施 (知事公室 平和・地域外交推進課)	沖縄平和賞委員会 県	国際平和ネットワーク人材育成研修事業の実施		
		国際平和に関心を持ち、発信する意欲のある若い人材の育成数(累計)		
		4人	4人(8人)	4人(12人)

基本施策

4－(2)	沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成
-------	----------------------------

目指す姿

東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、観光・経済・文化など様々な分野における多元的交流の推進を通して、沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成を目指す。

主要指標(最終アウトカム)の基準値と目標値

主要指標名	基準値	現状値 (計画策定時)	R9年度 目標値	R13年度 目標値	全国の現状 (参考年)
国内外における世界のウチナーネットワークの強化を推進する取組数	22件 (R3年度)	23件 (R5年度)	38件	56件	—

【指標設定の考え方】

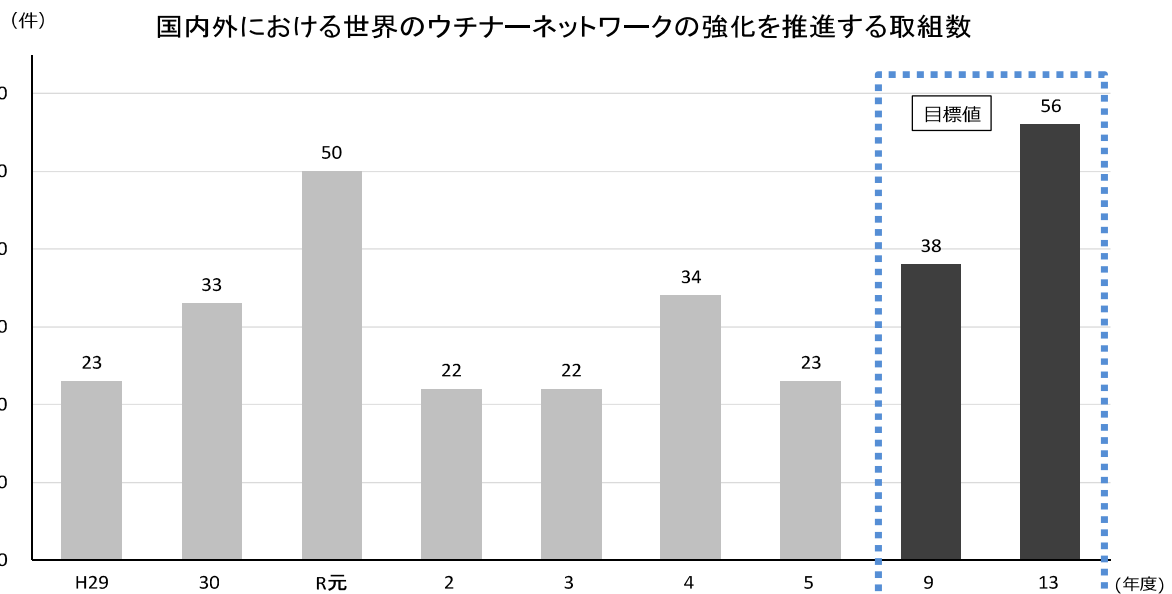
交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展、多文化共生社会の構築、多元的な交流の推進といった各施策を推進することで、沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成が促進され、そのことが、国内外における世界のウチナーネットワークの強化を推進する取組数(※)に反映されることが考えられることから、本指標を設定する。

※県内の団体や国内外の県人会等で実施した世界のウチナーンチュの日関連イベントの数

【目標値設定の考え方】

平成28年にウチナーンチュの日が制定され、その後令和元年にかけて関係団体等による関連イベントが増加していたが、令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の影響により世界各地における取組が大幅に減少した。

各地におけるイベント開催にかかる環境や、ウチナーネットワークの拡充、県人会等の高齢化に伴う実施体制の整備に時間を要することが考えられるため、各年の増加目標を前年比1割とし、主要県人会等だけでなく、ネットワーク強化の取組や、小規模団体、個人的な取組についても促進する。



出典: 沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課調べ

基本施策の体系

【基本施策】

4－(2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成

【施策展開】

ア 交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展

イ 多文化共生社会の構築

ウ 多角的な交流の推進

協働が期待される主体と役割

協働主体名	期待される役割
県民	・多文化共生社会への理解 ・国際交流・協力活動への参加と協力 ・沖縄文化や他の文化・芸術に対する興味と関心 ・文化交流イベントへの理解・協力・参加
ボランティア、NPO、地域団体等	・国際交流イベントの開催 ・地域における外国人の受入 ・文化交流イベントの企画・開催
事業者	・海外とのネットワークの拡大 ・国際交流・協力活動への参加と協力 ・文化交流イベントへの参画
航空・航路事業者	・沖縄－奄美群島間の旅客運賃低減への協力
関係団体	・異文化理解、国際理解教育の推進 ・ボランティア制度の構築・運用 ・文化交流イベントの企画・開催
教育機関、研究機関等	・国際交流・協力活動への参加と協力 ・国際交流の架け橋となる人材の育成 ・沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICE誘致に向けた連携の取組 ・文化交流イベントへの理解と参画
鹿児島県	・沖縄－奄美群島間の旅客運賃低減への協調支援
市町村	・海外とのネットワーク構築促進 ・在住外国人向け生活相談等の実施 ・文化交流イベントの企画・開催・協力

【施策展開】
4－(2)－ア

交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展

施策展開の体系

【施策展開】

4－(2)－ア 交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展

【施策】

【成果指標(初期アウトカム)】

① 国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流

「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数(累計)

② 交流の架け橋となる人づくり

海外留学派遣者数・交流者数(累計)

【施策】4－(2)－ア－① 国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流

施策の方向

・国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組めます。

・国内外に広がるウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するため、JICA等と連携し、育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組めます。

成果指標(初期アウトカム)

成果指標名 : 「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数(累計)

全国の現状値	沖縄県の基準値	R9年度の目標値
—	16,015件 (R3年度)	46,015件

R13年度の目標値: 66,015件



主な取組(アクティビティ)及び活動指標(アウトプット)

【施策】① 国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流

主な取組 (アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
○ウチナーネットワークの継承・発展				
ウチナーネットワークの強化推進 (文化観光スポーツ部 交流推進課)	県	沖縄の移民の歴史や世界に広がるウチナーネットワークについて学ぶ出前講座の実施		
		出前講座受講者数(累計)		
		500人	500人(1,000人)	500人(1,500人)
ウチナージュニアスタディー事業 (文化観光スポーツ部 交流推進課)	県	県内に国内・海外県系人子弟を招待し、交流事業の継続実施		
		交流人数(累計)		
		33人	33人(66人)	33人(99人)
国内外の県人会との連携 (文化観光スポーツ部 交流推進課)	県	国内外県人会式典等への参加や県人会との情報交換を通じたネットワークの形成		
		式典等への県の参加件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業 (教育庁 生涯学習振興課)	県	海外県人会等と連携した海外でのルーツ調査及び資料収集の実施、移民関係企画展示等の開催		
		移民ルーツ調査受付件数(累計)		
		150件	150件(300件)	150件(450件)
○育成人材等の相互交流、情報発信等				
次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業(育成人材等を対象とする相互交流) (文化観光スポーツ部 交流推進課)	県	県系子弟等留学事業OB・OG等を対象とするオンライン等を活用した相互交流		
		参加者数(累計)と参加国・地域数		
		200人、6カ国・地域	200人(400人)、6カ国・地域	200人(600人)、6カ国・地域
次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業(ウチナーネットワークの多言語情報発信) (文化観光スポーツ部 交流推進課)	県	WEB・SNS等によるウチナーネットワークの多言語情報発信		
		多言語情報の発信数(累計)		
		50件	50件(100件)	50件(150件)

【施策】4－(2)－ア－② 交流の架け橋となる人づくり

施策の方向

・児童生徒に対する外国語教育及び国際理解教育の充実を図るため、**様々な分野における留学生や研修生の海外派遣**など国際理解の促進と主体的に行動する国際感覚に富む創造性豊かな人材の育成に取り組めます。

・**本県出身移住者子弟等の県内大学受入れ等**により海外県系人社会等と沖縄との架け橋となる人材を育成するとともに、**海外派遣による県系人との交流等**を通じて国際的な視野を持った人材の育成に取り組めます。

成果指標(初期アウトカム)

成果指標名 : 海外留学派遣者数・交流者数(累計)

全国の現状値	沖縄県の基準値	R9年度の目標値
—	2,762人 (R3年度)	3,886人

R13年度の目標値:4,806人

主な取組(アクティビティ)及び活動指標(アウトプット)

【施策】② 交流の架け橋となる人づくり

主な取組 (アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
○様々な分野における留学生や研修生の海外派遣等				
国際性に富む人材育成留学事業 (教育庁 県立学校教育課)	県	高校生をアジア太平洋、欧米、中南米諸国等へ約1年間派遣		
		海外留学派遣・交流者数(長期留学)(累計)		
		30人	30人(60人)	30人(90人)
グローバルリーダー育成海外短期研修事業 (教育庁 県立学校教育課)	県	高校生を海外短期研修・交流に派遣		
		海外留学派遣・交流者数(短期研修)(累計)		
		80人	80人(160人)	80人(240人)

基本施策4－(2)沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成

アジア高校生オンライン国際交流事業 (教育庁 県立学校教育課)	県	沖縄県とアジアの高校生がオンラインで協働的な学びに取り組む国際交流プログラムを実施		
		海外留学派遣・交流者数(海外交流)(累計)		
		100人	100人(200人)	100人(300人)
○本県出身移住者子弟等の受入れ、海外派遣による県系人との交流等				
次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業(海外県系人子弟留学生の受入) (文化観光スポーツ部 交流推進課)	県	海外県系人子弟等の県内大学等への留学受入れによる、県民との交流や生活を通じた文化・歴史等の学習		
		受入人数(累計)		
		10人	10人(20人)	10人(30人)

【施策展開】 4－(2)－イ	多文化共生社会の構築
--------------------------	------------

施策展開の体系

【施策展開】

4－(2)－イ 多文化共生社会の構築

【施策】	【成果指標(初期アウトカム)】
① 在住外国人等が住みやすい地域づくり	在留外国人数
② 県民の異文化理解・国際理解の促進	おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数

【施策】4－(2)－イ① 在住外国人等が住みやすい地域づくり

施策の方向

・地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語や‘やさしい日本語’による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーやユイマールの精神で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。

成果指標(初期アウトカム)

成果指標名 : 在留外国人数		
全国の現状値	沖縄県の基準値	R9年度の目標値
32,313人 (R3年) (※沖縄県の人口規模に換算)	18,535人 (R3年)	26,583人

R13年度の目標値: 35,899人

主な取組(アクティビティ)及び活動指標(アウトプット)

【施策】① 在住外国人等が住みやすい地域づくり				
主な取組 (アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
○在住外国人等への情報発信、地域社会参画への支援、相談対応等				
在住外国人の生活支援 (文化観光スポーツ部 交流推進課)	沖縄県国際 交流・人材育 成財団	外国人が地域住民として直面する諸問題に関し、専門的な助言、相談ができる窓口を設置し、多言語による生活・法律相談を実施		
		法律・生活相談対応件数(累計)		
		70件	70件(140件)	70件(210件)
リーガル・ライフサポーターの養成 (文化観光スポーツ部 交流推進課)	沖縄県国際 交流・人材育 成財団	外国人から寄せられる多岐にわたる相談に対して、専門的な「通訳者」として支援対応することができる「リーガル・ライフサポーター」の育成		
		リーガル・ライフサポーター養成講座の修了登録者数(累計)		
		10名	10名(20名)	10名(30名)
災害時外国人支援サポーターの養成 (文化観光スポーツ部 交流推進課)	沖縄県国際 交流・人材育 成財団	防災・減災に対する意識を高め、島嶼県である沖縄の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成		
		災害時外国人支援サポーター養成講座の修了登録者数(累計)		
		30名	30名(60名)	30名(90名)

【施策】4－(2)－イ－② 県民の異文化理解・国際理解の促進

施策の方向

・市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民の文化・教育の交流等を通して、**お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり**に取り組みます。

・県内に**在住する外国人**に、国際交流・国際親善、日本・沖縄の社会や文化等について**日本語で意見を発表**する場を提供し、共生社会のあり方を互いに考え合う機会をつくり出すことにより、県民の**異文化理解・国際理解の促進**に取り組みます。

成果指標(初期アウトカム)

成果指標名 : おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数

全国の現状値	沖縄県の基準値	R9年度の目標値
—	1,488人 (R4年度)	4,288人

R13年度の目標値:5,414人

主な取組(アクティビティ)及び活動指標(アウトプット)

【施策】② 県民の異文化理解・国際理解の促進

主な取組 (アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
○お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり				
多文化共生社会に向けた県民 向けの取組 (文化観光スポーツ部 交流推 進課)	県	多文化共生社会の普及・啓発を図るため、市町村行政担当者 や市民を対象としたシンポジウム・ワークショップ等を実施		
		シンポジウム・ワークショップ等の開催数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
国際交流員による異文化理解 促進 (文化観光スポーツ部 交流推 進課)	県 自治体国際 化協会沖縄 県支部	県内小・中・高校へ国際交流員を派遣し、異文化の紹介を行う 出前授業・出前講座等の実施		
		学校訪問の実施回数(累計)		
		10回	10回(20回)	10回(30回)

基本施策4－(2)沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成

○在住外国人の日本語による意見発表等を通じた異文化理解・国際理解の促進				
外国人による意見発表等を通じた異文化理解・国際理解の促進 (文化観光スポーツ部 交流推進課)	県 沖縄県国際交流・人材育成財団	沖縄県国際交流・人材育成財団が主催する、日本語弁論大会での審査員、広報等への協力		
		日本語弁論大会の共催承認、県知事賞(賞状)の授与、審査員での参加等		
		実施	実施	実施

【施策展開】 4－(2)－ウ	多元的な交流の推進
--------------------------	-----------

施策展開の体系

【施策展開】

4－(2)－ウ 多元的な交流の推進

【施策】	【成果指標(初期アウトカム)】
① 観光交流、経済交流等の推進	MICE開催件数
② 沖縄の文化を通じた交流	県が支援した文化交流イベントの参加者数

【施策】4－(2)－ウ－① 観光交流、経済交流等の推進

施策の方向

・観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。

・経済交流については、県内企業と海外企業との経済連携サポート支援を強化するとともに、県海外事務所、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)沖縄貿易情報センター等と連携した国際的なビジネス展開に取り組みます。

・東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等に基づく交流を促進し、また、海外との新たなMOU(連携覚書)締結など地域間交流を促進します。

成果指標(初期アウトカム)

成果指標名 : MICE開催件数		
全国の現状値	沖縄県の基準値	R9年度の目標値
—	273件 (R3年)	2,492件

R13年度の目標値:2,782件

主な取組(アクティビティ)及び活動指標(アウトプット)

【施策】① 観光交流、経済交流等の推進				
主な取組 (アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
○誘客活動の推進、MICEやスポーツコンベンション等の誘致				
沖縄観光グローバル事業(海外市場別誘客プロモーション) (文化観光スポーツ部 観光振興課) 【再掲】	県	重点市場(韓国、中国本土、香港、台湾)、戦略開拓市場(東南アジア)、新規開拓市場(欧州、北米、豪州)における誘客プロモーション等の実施		
		プロモーション実施国・地域数		
		12か国・2地域(香港、台湾)	12か国・2地域(香港、台湾)(継続12か国・2地域)	12か国・2地域(香港、台湾)(継続12か国・2地域)
MICE誘致の実施(コンベンション) (文化観光スポーツ部 MICE推進課)	県 OCVB	国際会議の誘致		
		コンベンション開催支援件数(累計)		
		19件	14件(33件)	17件(50件)
スポーツキャンプ・合宿等の誘致 (文化観光スポーツ部 スポーツ振興課) 【再掲】	県 市町村 スポーツコミッション沖縄 縄	受入市町村等、関係機関と連携したスポーツキャンプ・合宿等誘致の促進		
		スポーツ団体合宿実証件数(累計)		
		10件	10件(20件)	10件(30件)
○国際的なビジネス展開の取組				
海外事務所等による活動 (商工労働部 グローバルマーケット戦略課) 【再掲】	県	物産展等への出展支援、現地企業等への営業活動、県内企業の海外展開支援、情報収集、情報発信等		
		海外事務所等活動件数(累計)		
		2,200件	2,200件(4,400件)	2,200件(6,600件)

基本施策4－(2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成

○姉妹提携等に基づく交流、地域間交流の促進				
海外友好・姉妹都市や北東アジア地域自治体連合等と連携した取組 (知事公室 平和・地域外交推進課)	県	海外友好・姉妹都市や北東アジア地域自治体連合の会員自治体等との交流事業の実施・参加		
		自治体間交流事業の実施・参加件数(累計)		
		4件	4件(8件)	4件(12件)
海外友好姉妹都市等からの留学生受入 (文化観光スポーツ部 交流推進課)	県	海外友好姉妹都市等から留学生を受け入れ、県内大学や企業等で就学・研修等の実施		
		海外友好姉妹都市からの留学生受入人数(累計)		
		2人	2人(4人)	2人(6人)
沖縄県・市町村国際交流連絡会議の実施 (文化観光スポーツ部 交流推進課)	県 市町村	海外との交流を促進するため、県と市町村間の情報交換、意見交換の実施		
		沖縄県・市町村国際交流連絡会議の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
小渕沖縄教育研究プログラムの推進 (企画部 科学技術振興課)	県 関係機関等	小渕沖縄教育研究プログラムを通じた、県内の社会人等のハワイ大学大学院又はハワイ東西センターへ派遣によるハワイとの交流の促進		
		ハワイ大学大学院又はハワイ東西センターへの派遣者数(累計)		
		2名	2名(4名)	2名(6名)

【施策】4－(2)－ウー② 沖縄の文化を通じた交流

施策の方向

・文化は交流により育まれ、互いの文化を理解し合うことにより発展するため、**国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組の強化**を図ります。

・県民が**沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策を効果的に推進**し、沖縄の文化の継承と発展に取り組めます。

・国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、**多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流**に取り組めます。

成果指標(初期アウトカム)

成果指標名 : 県が支援した文化交流イベントの参加者数		
全国の現状値	沖縄県の基準値	R9年度の目標値
—	5,878人 (R3年度)	99,000人

R13年度の目標値:131,000人

主な取組(アクティビティ)及び活動指標(アウトプット)

【施策】② 沖縄の文化を通じた交流				
主な取組 (アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
○国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組の強化				
文化資源を活用した沖縄観光 の魅力アップに関する取組 (文化観光スポーツ部 文化振 興課) 【再掲】	県	文化資源を活用した体験プログラムの構築・実施		
		文化体験プログラムの実施回数(累計)		
		10回	10回(20回)	10回(30回)
○沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策の効果的な推進				
若年層を対象にした歴史・文化 ワークショップ (文化観光スポーツ部 文化振 興課)	県	歴史・文化ワークショップ等の実施		
		歴史・文化ワークショップ等への参加者数(累計)		
		60名	60名(120名)	60名(180名)
高校生伝統芸能分野海外就業 体験事業 (教育庁 文化財課)	県	郷土芸能に取り組んでいる高校生をハワイへ派遣し、現地高 校生との伝統芸能交流や現地県人会との交流を通してネット ワークを構築		
		派遣人数(累計)		
		16人	16人(32人)	16人(48人)
○多様な沖縄の文化の積極的な発信、国内・国外との文化交流				
国立劇場おきなわの伝統芸能 県外公演 (文化観光スポーツ部 文化振 興課) 【再掲】	県 国立劇場お きなわ	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開 催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)

基本施策4－(2)沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成

伝統芸能の県外公演 (文化観光スポーツ部 文化振興課) 【再掲】	県	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
伝統芸能の海外公演 (文化観光スポーツ部 文化振興課) 【再掲】	県	海外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
沖縄・奄美連携交流促進事業 (企画部 地域・離島課)	県 鹿児島県 民間企業	沖縄－奄美群島間の航空路及び航路運賃の低減		
		運賃を低減した路線における利用者数(累計)		
		航空路15,300人 航路51,870人	航空路15,600人 (30,900人) 航路52,900人 (104,770人)	航空路15,910人 (46,810人) 航路53,940人 (158,710人)